



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版

平成21年3月1日号
発行 かながわ1区支部
編集長 平木 茂

ALL CLASS UNO OF WORLD TOKYO

3月号
2009年
No.73

松本純ホームページ 毎日更新中！ [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

「天下り」「渡り」の省庁斡旋を、今年いっぱいまで廃止！

麻生首相の決断で、公務員制度改革が前進します



政府は、国家公務員の「天下り」と、再就職を繰り返す「渡り」の省庁による斡旋を今年いっぱいまで廃止する政令を3月中に閣議決定します。

これにより、麻生内閣の公務員制度改革が大きく前進することになりました。

麻生首相は2月3日の衆院予算委員会で、「渡りについて私は、申請が出てきても認めることはない」と明言している。これに加えて、各省庁による天下りの斡旋も3年を待たず前倒しして廃止したい」と答弁しました。政令は、これを制度的に明確にするものです。

官僚の天下りは、一部官僚の特権となっただけでなく、官民癒着を生む温床と指摘されてきました。また、天下りした官僚が、さらに財団や企業を渡り歩いて、そのつど多額の退職金を手にする渡りに対しては、国民の皆さんの悲鳴に似た批判の声が集中していました。にもかかわらず、改革が遅々として進まなかったのは、何よりも特権を失うことになる官僚の抵抗のためでしたが、麻生首相は勇断をもってこれを断ち切ったのです。

官僚といえば、「省益あって国益なし」といわれる縦割り行政の弊害も指摘されています。政府は政治主導により「縦割り行政の弊害」を排除するため、省庁ごとの幹部人事を内閣の下で一元管理にする方針です。

このため、麻生内閣は、「内閣人事・行政管理局」（仮称）に幹部人事を移管して一元管理することを盛り込んだ工程表を決定しました。新組織は平成22年4月をめどに、内閣官房に設置されます。

工程表にはまた、天下りについても「平成23年に天下りの根絶に対応した新たな人事制度を実現する」と明記されました。工程表の策定に当たっては、人事院総裁の反対もありましたが、それを乗り越え、近々、国家公務員法改正法案を国会に提出します。

「国民本位の政策を進める」「官僚を使いこなす」「国益に専念する」。麻生首相は内閣発足時の記者会見で、「この3点を閣僚に指示したい」と語りました。公務員制度改革が大きく前進し始めた今、すべての政治家に求められているのは、過度の官僚バッシングではなく、麻生内閣のこの「初心」ではないでしょうか。

松本議員の国会レポート⑤9

平成21年
【2月13日(金)】

- 午前9時 ●閣議
- 午前9時10分 ●国会対策正副委員長打合せ
- 午前11時15分 ●衆院議院運営委員会理事会
- 正午 ●政務官会議で挨拶
- 午後1時 ●第61回日本消防協会定例表彰式
(首相祝辞代読)
- 午後3時30分 ●内閣官房副長官番記者との懇談
- 午後4時35分 ●世界らん展日本大賞2009
(首相祝辞代読)
- 午後7時30分 ●政務懇談会

【2月14日(土)】

- 午後6時 ●故杉山秀雄氏通夜
- 午後6時30分 ●日ノ出町青年部新年会
- 午後7時 ●磯子区薬剤師会新春の集い
●清水会新年会
●中輪会
- 午後7時45分 ●金沢区薬剤師会新春の集い

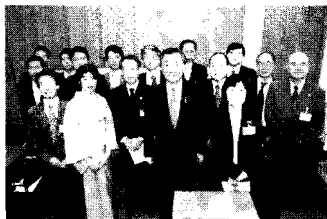
【2月17日(火)】

- 午前8時30分 ●閣議
- 午前9時10分 ●国会対策正副委員長打合せ
- 午後1時 ●衆院予算委員会
- 午後4時30分 ●内閣官房副長官番記者との懇談
- 午後6時30分 ●首相むらさがり取材
- 午後8時 ●米國務長官首相主催夕食会

「世界らん展」は、国内はもとより世界22の国・地域の蘭愛好家から出品された約10万株もの蘭が会場の東京ドームを埋め尽くすという、世界最大級のらん展です。「蘭、と暮らす。～美しい蘭と、美しい人生を～」という今回のテーマからは、蘭とのふれあいを通じて美しい人生を送り、地球環境を守り育ていこうという蘭愛好家の皆さんのメッセージが感じられました。私は、麻生首相の祝辞を代読したのですが、ゆっくりと蘭を觀賞する時間がなかったのが残念でした。

日ノ出町青年部の新年会に今年もお招きいただきました。日ノ出町といえば昨年、お隣の初音町、黄金町とともに街を文化芸術の力で再生させる「黄金町バザール」を開催して大成功に導きました。今年4月からは、会場となった高架下や元特殊飲食店の文化芸術スタジオなど20カ所を1年間、アーティストやデザイナー、ショップに貸し出すという第2ステージに突入するそうです。青年部の新年会もそんな熱気に包まれており、皆さんの結束の強さが感じられました。

ヒラリー・クリントン米國務長官が来日されました。長官は到着後「日米関係は世界的にも極めて重要である」と語りましたが、その姿勢は、就任後最初の訪問国として日本を選んだことに表れています。それにしても、この日のスケジュールは午前8時半の明治神宮参拝に始まって、日米外相会談、拉致被害者の家族会との面会、皇后陛下のお茶会など、分刻みに実に13時間連続という過密さ。それにもかかわらず、首相主催夕食会でも笑顔を絶やさない姿が印象的でした。



▲2/5 地元の弁護士会の皆さんが国会見学に。有意義な交流でした



▲2/13 日本消防協会定例表彰式。献身的なその活動に感謝しました



▲2/14 日ノ出町の青年部新年会で。力強い結束に頼もしさを感じました



▲2/20 米国「ニューヨークタイムズ」で報道された國務長官来日

永田町日記 氷点下26度の地で、エネルギー政策を考える

麻生首相に随行して2月18日、日帰りですハリンを訪問しました。ユジノサハリンスクの気温は、なんと氷点下26度。今年に入ってから、韓国、スイスと寒い国への訪問が続きましたが、この寒さは格別です。麻生首相はすぐメドヴェージェフ大統領との首脳会談。私も同席しましたが、会談は予定を超えて1時間半に及び、北方領土問題から今後の対話の進め方まで、率直な意見交換となりました。会談後、首相は液化天然ガスプラント「サハリンⅡ」の稼働式典へ。私はここで首相とは別行動となり、同行記者の皆さんに首脳会談の結果をお知らせしました。ところで、「サハリンⅡ」は、日本の天然ガス総輸入量の7.2%を占める施設です。天然ガスを特定の国や地域に過大に依存することは、その国が紛争に巻き込まれた場合などに輸入がストップしてしまう危険があります。ですから「サハリンⅡ」は、多角的にエネルギーを調達するという日本の政策にとっても重要なプロジェクトなのです。酷寒の地でそのことを実感しました。(純)

まつもと じゅん プロフィール▶ 昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶ 本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶ 本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組み▶ 平成2年～横浜市長(3期)▶ 平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶ 平成12年～総選挙で次点落選▶ 平成15年～衆議2期目。総務大臣政務官に就任。▶ 平成17年～衆議3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国の形をつくるため奮闘。▶ 平成17年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営等に取り組み。▶ 平成18年9月～安倍内閣で自民党副幹事長に▶ 平成19年6月～自民党横浜市連会長▶ 平成19年8月～安倍改造内閣で自民党副幹事長に再任。▶ 平成19年9月～福田内閣で自民党副幹事長に留任。▶ 平成20年8月～福田改造内閣で自民党副幹事長に留任▶ 平成20年9月、麻生内閣で官房副長官の要職に任命され現在に至る